

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

Sodick 2022年度グッドデザイン賞受賞

高速造形金属3Dプリンタ「LPM325S」 「2022年度グッドデザイン賞」受賞

JIMTOF 2022
実演展示計画

ソディックは、このほど同社が開発・製造する高速造形金属3Dプリンタ「LPM325S」が、2022年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人 日本デザイン振興会)を受賞した。

「LPM325S」は、1台のマシンで多彩な金属粉末造形を可能にするマルチ造形対応型の金属3Dプリンタ。金属粉末の供給・回収・ふるい作業を自動で行う独自ユニットを標準搭載することで、従来2日間要したこれらの作業を、ユーザー自身で2時間以内に終わることができる。

複数の粉末に1台で対応可能で、交換作業は粉末ごとのユニットを付け替えるだけで容易に行うことができる。

また、加工時に発生する金属蒸気の集積物(ヒューム)の回収能力を向上。



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

さらに機械、電源、周辺機器を一体のベースに搭載し、フルカバー内に収められるようにデザインするなど全体をコンパクト化した。

審査委員の評価

金属3Dプリンタの位置づけは、従来の試作から、多品種少量生産が可能な製造技術に変化している。本製品は、独自の粉末交換システムにより複数の金属粉末(鉄、ステンレス、アルミ、

チタン)をユーザー自身が短時間で切り替え可能で、造形不良やトラブルを未然防止する予知保全機構と造形モニタリング機能も相まって、高稼働率を達成している。持続可能な開発目標(SDGs)に適合する、必要なものを必要な分だけ製造する新しい時代の製造技術を実現している点を評価した。

同社では今回の受賞を契機に「LPM325S」の販売拡大を図るとともに、モノづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に務めていく。

なお、LPM325Sは、11月8日～11月13日、東京ビッグサイトで開催される「JIMTOF 2022」へ出展。期間中会場ブースにおいて実機による稼働デモンストレーションを予定している。

高速造形金属 3Dプリンタ 「LPM325S」

ソディックの高速造形金属3Dプリンタ「LPM325S」は、粉末交換作業やメンテナンスなど“非稼働”時間を大幅に削減する。

生産性の鍵となる“稼働率”アップに貢献する長時間高速安定造形に対応する。

LPM325Sは、金属粉末の溶融凝固による3D造形と、造形物への基準面加工を1台の機械で行う金属3Dプリンタで、粉末交換作業やメンテナンスなどによる“非稼働”時間を大幅に削減し、現場の生産性の鍵となる“稼働率”アップに貢献する。

1台のマシンで多彩な 金属粉末造形を実現

独自のMRS(Material Recycle System：粉末自動供給、粉末自動回収、粉末自動ふるいを行うユニット)を標準搭載し、作業者による簡単な交換作業で、鉄系・SUS系・アルミ・チタンなどの複数の多彩な金属粉末造形に対応する。

造形不良を未然防止 超高速造形(オプション)

同機は、「造形モニタリング(オプション)」機能を搭載し、造形物状態や各部の稼働状態を高度なセンシング技術で常時監視することで、造形不良を未然に防止する。また、「デュアルレーザ(オプション)」を搭載することで、従来比2倍以上(同社従来機比)の造形速度を実現する。

同機は、金属粉末の溶融凝固による3D造形と造形物への基準面加工を1台の機械で行う新しいタイプのハイブリッド複合加工機。金属3Dプリンタは粉末交換作業やメンテナンスなどによる“非稼働”時間を大幅に削減することが現場生産性の鍵となり“稼働率”アップに貢献する。造形精度・造形速度など、同機は3Dプリンタ本来の性能を一層向上させることをコンセプトに開発されている。

航空・自動車・医療・その他さまざまな要素技術に活躍する。



■ソディック URL→ <https://www.sodick.co.jp/>